



<アセアン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年3月29日

世界銀行のアジア太平洋経済見通し、中国とベトナムの力強い成長を予測

世界銀行（世銀）がアジア太平洋地域の経済見通しを発表した。米国の1.9兆ドルの経済刺激策によって輸出型経済のカンボジア、マレーシア、タイおよびベトナムは恩恵を受けるとしている（2016年の世銀の分析レポートによると米国GDPの1%の成長は1年間のタイムラグを伴ってEMDE（エマージング及び発展途上国）の経済を0.6%成長させるとしている）。

アジア太平洋地域全体では2021年は+7.4%の成長を予測。中国を除く同地域は+4.4%にとどまるが、中国とベトナムは2021年にそれぞれ+8.1%、+6.6%の強い成長を見せるとしている。インドネシアがコロナ禍以前の水準にもどるのは21年いっばいかかるとし、タイやフィリピンは22年いっばいかかると予測している。

世界銀行の経済成長予測（2021年3月26日発表）

	19年	20年	21年	22年
東アジア&太平洋	5.8%	1.2%	7.4%	5.4%
中国	6.0%	2.3%	8.1%	5.4%
インドネシア	5.0%	-2.1%	4.4%	5.0%
タイ	2.4%	-6.1%	3.4%	4.7%
マレーシア	4.3%	-5.6%	6.0%	4.2%
フィリピン	6.0%	-9.5%	5.5%	6.3%
ベトナム	7.0%	2.9%	6.6%	6.5%
ラオス	5.5%	0.4%	4.0%	4.6%
ミャンマー	6.8%	1.7%	-10.0%	-
カンボジア	7.1%	-3.1%	4.0%	5.2%

出所：世界銀行

<http://www.capital-am.co.jp>

以上